

天童市議会だより

2006
2.1.
No. **111**
TENDO



津山小学校の児童の皆さんは、1月10日の始業式の日、新年を迎え気持ちも新たに書き初めに挑戦し、真剣な表情で筆を進めていました。

12
月
定
例
会

関係機関と連携し医師の積極確保を …… 一般質問(P4~9)

(ゆぴあ)値上げ分の数的根拠と内訳は …… 総括質疑(P10~12)

天童市議会改革検討委員会 …… 特集②(P13)



安全・安心な市民生活の確保を最優先に

議長 小澤 精

明けまして

おめでとうございます。

市民の皆様におかれましては、新年をお健やかに迎えられましたことと、心からお喜び申し上げます。

昨年、市議会では、正副議長をはじめとする構成替えが行われ、気持ち新たに、その職務の重大さを痛感しております。

さて、昨年12月からの記録的な豪雪により、市民の皆様には、除雪等にご苦労の多い年明けとなったことと存じます。市でも昨年12月26日に豪雪対策本部を設置し、雪害防止等に取り組んでおり、さらには、議会といたしましても、市民の代表として仕事始めの1月4日に、

市長に対し、さらなる豪雪対策の申入れを行ったところであります。今後とも安全・安心な市民生活の確保を最優先に議会活動を行っていく考えであります。

本市を取り巻く状況は、地方交付税の減少や、市税の伸び悩みなどにより厳しい状況が続いておりますが、市議会といたしましても、6万3000人の市民が安心して暮らせるまちづくりの実現のため、決意を新たにしております。

市民の皆様のご多幸とご健勝を心からご祈念申し上げますとともに、議会活動に対して相変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。新年のごあいさつといたします。

副議長 岡 長 議員 山木 森 篠 赤 結 武 佐 後 山 石 小 伊 水 浅 梅 片 伊 秋 水 高 麗 青 高 奥

繁 子 虎 郎 子 郎 巳 郎 男 信 諭 一 雄 國 保 一 一 弥 子 忠 諭 郎 士 博 也
桂 竹 仙 一 幸 義 達 正 和 昭 善 護 健 謙 郁 和 市 仁 成
口 村 谷 原 塚 城 田 藤 藤 崎 垣 松 藤 戸 井 津 桐 藤 葉 戸 辺 柳 橋 山

豪雪に伴う除雪状況等を調査

建設常任委員会

平成17年12月26日に、豪雪に伴う天童市豪雪対策本部が設置されたことを受け、28日に、建設常任委員会（小松善雄委員長）では、閉会中の事務調査として、市内の除雪状況等の調査を実施しました。

現地調査では、主に幹線道路を中心に調査を行いました。調査後の協議で、委員からは生活道路への除雪の対応、マンホールや（注）グレー

チング部分の段差の解消、地域から連絡があった場合の速やかな対応、除雪、排雪の際のトラック等の燃料代や借り上げ料への一部助成などについて、委員会として意見があったことを議長に報告し、議長から市長に対し、申入れを行うことを確認して調査を終えました。
（注）側溝にかかっている鉄製の網状のふた



除雪状況を視察する建設常任委員

第4回臨時議会

平成17年度第4回市議会臨時議会が11月29日に開催され、市長提出議案1件を審議し、原案のとおり可決されました。

▼議第47号 天童市一般職の職員との給与に関する条例等の一部改正について
〃人事院及び山形県人事委員会の勧告に基づき国及び山形県の給与改定に準じ、職員の給与の改定を行うもの。

12月定例会

審議日程

平成17年度12月定例会は、12月7日から22日までの16日間の会期で開かれました。

市長提出議案である人事案件1件は、初日の本会議で採決が行われました。そのほか、平成17年度天童市一般会計補正予算をはじめとする予算議案9件、一般議案6件については、予算特別委員会及び所管の委員会に付託され、各委員会で審査されたあと、最終日の本会議で採決が行われました。

結果は下記に掲載しています。

月日	審議内容
12.7	本会議（会期の決定、議案の提案理由説明） 予算特別委員会（予算議案の提案理由説明）
12.12 13	本会議（市政に対する一般質問）
12.14	本会議（一般議案に対する総括質疑） 予算特別委員会（予算議案に対する総括質疑）
12.15 16	各委員会（分科会）審査
12.19	本会議・厚生分科会
12.22	予算特別委員会（各分科会委員長報告、質疑、採決） 本会議（委員長報告、質疑、採決）

提出された議案とその結果

(市長提出議案)

議案番号	件名	議決結果
議第48号	▼平成17年度天童市一般会計補正予算(第5号)	原案可決
議第49号	▼平成17年度天童市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議第50号	▼平成17年度天童市老人保健特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議第51号	▼平成17年度天童市都市計画公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議第52号	▼平成17年度天童市老野森土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議第53号	▼平成17年度天童市楸ノ町土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議第54号	▼平成17年度天童市介護保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議第55号	▼平成17年度天童市水道事業会計補正予算(第3号)	原案可決
議第56号	▼平成17年度天童市立天童病院事業会計補正予算(第1号)	原案可決

議案番号	件名	議決結果
議第57号	▼天童市市民保養施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決
議第58号	▼山形広域都市計画天童市柏木土地区画整理事業施行条例及び山形広域都市計画天童市天童駅前土地区画整理事業施行条例の廃止について	原案可決
議第59号	▼山形広域都市計画事業天童市老野森土地区画整理事業施行条例及び山形広域都市計画事業天童市楸ノ町土地区画整理事業施行条例の一部改正について	原案可決
議第60号	▼天童市下水道条例の一部改正について	原案可決
議第61号	▼山形広域都市計画天童市公共下水道事業受益者負担に関する条例の一部改正について	原案可決
議第62号	▼市道の認定及び廃止について	原案可決
議第63号	▼人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	同意

市政に対する一般質問

市政に対する一般質問は、12月12日、13日の2日間の日程で、15人の議員が行いました。雇用問題や企業誘致、経営所得安定対策大綱に関する対応などについて、市長、教育長の見解を求めました。



入札制度

入札参加者審査委員会 民間から委員選出を



秋葉 忠議員
ランク別の入札制度が明確でない、他の分野の業者が指名されている、指名が偏っている、など入札制度の問題点が指摘されている。現在、庁内の職員で構成されている指名競争入札参加者審査委員会に、民間から委員を入れる必要があると思うが、市長の考えはどうか。

る法律に基づいて、発注見通しや指名業者の公表、予定価格の事前公表、一般競争入札の実施、入札・契約情報のホームページ上の公開などを順次進め、公平性、透明性及び競争性の確保に努めている。審査委員会に民間の方を入れたらどうかということは、全国的には、先進的にやられているところもあるようだが、民間の審査委員の選任の問題については、先進地の事例を十分参考にして検討を重ねていきたい。

市立天童病院

関係機関と連携し 医師の積極確保を



武田達郎議員
新病院建設に伴い、医師の確保が最重要である。新たな医師臨床研修制度の実施に伴う大学によ

る医師の引き揚げ、小児科、産婦人科の医師希望者の減少、医師の都市部への集中など厳しい状況の中で、行政の長として関係機関との連携を図り、積極的に働きかけをす



新病院は平成20年オープン予定
(市民課前に展示されている完成模型)

べきと思うが、その対応策について伺いたい。

遠藤市長 新病院における医師の確保に関して、医師の数は、医療法の規定により12人になる。現在の10人の医師に加え、人間ドックの充実を図るうえで不可欠である内科医師と市民ニーズの高い小児科医師の確保を優先させたいと考えている。

しかし、県内では、新医師臨床研修制度が導入されたことによる医師不足が続いており、医師確保はたいへん厳しい状況にあるが、山形大学医学部に対し理解と協力を求め、新病院での基準医師数の確保に向け、万全を期していきたい。

質問者と 質問事項

(☆印は会派名)

☆政和会

結城義巳議員

- ☆ 将来展望に立った合併構想をどう考えているか
- ☆ 憲法改正が国政において論議されている今日、地方は何をなすべきか
- ☆ 農業経営についての所得安定対策大綱について
- ☆ 国民健康保険制度について

武田達郎議員

- ☆ 高齢者福祉を推進するため、地域の推進組織をどのように強化していくか
 - ☆ 市職員の服務規律確保と懲戒処分の方について
 - ☆ 市立病院の新築整備について
 - ☆ 小中学校の耐震構造について
- 秋葉 忠議員**
- ☆ 欽ノ町開発について
 - ☆ 入札制度の改善について
- 片桐郁弥議員

安心して産み育てられる 地域社会を



後藤和信議員

豊かな生活と引き換えに、家族、親

族、地域社会が助け合う精神を見失った結果、子育て・子育てが行きづまりを呈するようになり、児童に対する虐待や不登校の増加、育児の孤立化や凶悪な少年犯罪が増加している状況にある。子どもを安心して産み育てられる社会をつくるための地域での子育て対策について伺いたい。

遠藤市長 子育ては、親・家



12月9日に天童中部見守る隊が発足

地域社会を

庭が中心となり、地域、学校、職場、関係機関・団体などが互いに連携をとってこれを支援していくことが重要であると考えている。

市次世代育成支援行動計画に基づき、家族が協力して子育てができる環境づくり、子

地域農業

農家すべてを 支援する対策を

支援する対策を



石垣昭一議員

2007年

度から、米、

麦、大豆など

品目にあった価格保障を廃止し、基準を満たす一部の担い手だけが対象となります。必要なのは、農家すべてを支援することであり、現場の基準を広げることです。行政として特別に対策を取ることを求め、市長の考えを伺います。

遠藤市長 今回、国から示さ

育てしながら働きやすい環境づくり、地域で子育てを支援できる環境づくりなど、安心して子どもたちを産み育てるまちづくりを進めていきたい。

最近、忌まわしい事件が相次いでいるが、教育委員会はじめ市内の各小・中学校、地域が一体となり、子どもたちを見守る体制の整備など、市を挙げて対応しなければならぬと考えている。

れた経営所得安定対策大綱の中で、特に、品目横断的経営安定対策については、これまでの全農家を一律とした品目ごとの価格政策を見直し、担い手の経営に着目した所得政策に大きくかじを切ったものとなっている。新たな対策について、平成19年度から一挙に対応するということは難しいと考えている。認定農家では、補助基準が4畝以上であり、集落営農に重点を置かざ

るを得ない状況にある。今後、集落単位や個別農家と十分話し合い、吟味しなければならぬが、制度を有効

佐藤正男議員

* 行財政改革について

* 子育て・教育行政について

後藤和信議員

* チャイルドファースト社会の充実について

山崎 諭議員

* 経営所得安定対策大綱への対応について

* 高齢者の雇用確保について

小松善雄議員

* 第5次総合計画後期基本計画(案)について

* 農産物生産振興の課題について

高橋 博議員

* 雇用状況と対応について

* フリーター・ニート等の対応について

☆天新会

山口桂子議員

* 子育て支援のための保育所運営のあり方と学童保育所の拡充について

* 企業誘致への取り組みについて

* 企業誘致への取り組みについて

☆Cfpa

赤塚幸一郎議員

* 農業基本計画の運用について

森谷仙一郎議員

* 道の駅について

* 下水道事業について

☆日本共産党天童市議団

石垣昭一議員

* 地域農業を守り経営の安定化を図るために

伊藤和子議員

* 三位一体改革に伴う国庫負担見直しによる市への影響について

* 企業誘致の対応について

* 芳賀地区土地区画整理事業の内容について

伊藤護國議員

* 平成18年度予算編成について

* 集中改革プランと第5次総合計画について

☆Cfpa

* 農業基本計画の運用について

赤塚幸一郎議員

* 道の駅について

森谷仙一郎議員

* 下水道事業について

☆日本共産党天童市議団

石垣昭一議員

* 地域農業を守り経営の安定化を図るために

伊藤和子議員

* 三位一体改革に伴う国庫負担見直しによる市への影響について

* 子育て支援に力を入れた防災計画で、防災力を高める市民との協働を

に活用し、農業経営の安定が図られるように、引き続き担い手の育成を図っていく考えである。

るを得ない状況にある。今後、集落単位や個別農家と十分話し合い、吟味しなければならぬが、制度を有効

るを得ない状況にある。今後、集落単位や個別農家と十分話し合い、吟味しなければならぬが、制度を有効

1者指名を採用した理由は



佐藤正男議員

指定管理者制度の導入について、公募

の原則をはずして1者指名にした理由と募集要項を公開しない理由、加えて競争原理によりサービスの向上を図るべきと考えるが、指定期間を5年にした理由についてお示しください。また、今回募集を見送った施設の考え方もお伺いします。

遠藤市長 平成18年度から17



4月から指定管理者が導入されるゆびあ

施設について指定管理者を指定することで準備を進めている。17施設のうち、9施設については、施設の特異性、地域性、出資法人の目的、これまでの実績などを総合的に判断し、1者指名としている。また、8施設については、公募とし、募集を行っているところであるが、市報とホームページには、天童市指定管理者制度の指針に基づき、公募施設のみ掲載した。

指定期間については、1者指名、公募のどちらにおいても、人的な配置、経費の節減など経営的な面を考慮すると5年間で妥当と判断した。一方、今回指定管理者制度の導入を見送った施設についても、平成19年度は2施設、平成20年度には6施設に指定管理者制度の導入を図っていきたい。

また、今回、直営で運営していくことにしている施設についても、定期的に管理者、管理方法などについて総合的な点検を行い、指定管理者制度の導入が可能かどうか検討していきたい。

農業基本計画

計画の実績や評価、今後の推進方法は



赤塚幸一郎議員

天童市農業基本計画の実績や評価、今

後の推進方法について伺います。計画推進について、具体性に乏しく実績が伴っていないと感じる。ひとつの事例

として、地産地消の項目にある学校給食センターの地元農産物の利用率が異常に低い。もっと方法を変えて取り組むべきであると考えます。

遠藤市長 市農業基本計画策定後は、地域における中核的担い手である認定農業者の育



地産地消の推進が課題（学校給食センター）

成を目的とした農業担い手確保事業の実施、事業と農村に対する市民の理解を深めるため、情報提供を行う市農業

交流プラザホームページの開設、地元農畜産物の利用拡大のための地産地消事業への取り組みなどさまざまな事業を展開し、着実に事業の推進を図っており、成果が上がってきていると考えている。

計画の推進に当たっては、具体的な事業を明らかにした実施プログラムを毎年作成し、年次の進捗状況を的確に把握し、評価を行っている。農業者や農業団体の主体的な取り組みを基本に、国、県など関係機関と協力し、計画実現のために実施プログラムを展開していきたい。

国民健康保険

都道府県単位の運営と なるよう働きかけを



結城義巳議員

各市町村の運営となつて

いる国民健康保険は、財政的に厳しい状況にある。さらに、市町村は人口、財政規模等に差があるため、国民健康保険税（料）の

格差が大きくなっている。保険者を市町村から都道府県単位とするよう、市長会等から国に対して強力的働きかけをすべきでないか。

遠藤市長 高齢化の進展などによって、医療費の著しい増加、長期にわたる経済状況の

城館発掘と曲輪くるわの復元を



小松善雄議員
今年、天童直公が舞鶴山に築城し

てから630年を迎え、関連事業として、記念碑の建立や「天童氏と天童古城」の発刊をはじめ、市民的な歴史行事が開催された。これまで、貴重な文化遺産である山城が確認され、今後の学術調査、民地の公有化や城館跡発掘と曲輪部分の復元を推進すべきで



舞鶴山全体が城塞になっている（現存する曲輪）

あると思うがどうか。

酒井教育長 天童古城の保存・活用のあり方としては、第5次市総合計画後期計画の中で、出羽の三森の保存と整備を進めることにしている。現存している曲輪などを紹介できるように、自然景観を損ねない範囲で中長期的な計画

新年度予算編成

18年度税収見込み 重点施策は何か



伊藤護國議員
平成18年度の予算編成方針について、

予算規模はどの位になるのか。また、18年度の税収見通しについてどう認識しているのか。さらに、地方交付税、国庫補助金、県補助金等の見直し、市債の発行予定額、重点施策並びに予算の伴う新規事業について伺いたい。

の下に復元や、安全な散策路の整備などを考えている。

しかし、舞鶴山は、私有地がその6割ほどを占めており、今後その公有化を視野に入れながら検討していく。また、このたびの記念誌の発刊で、天童古城のおよその内容はつかむことができたと思っている。不明な部分については、今後さらに試掘調査などにより、曲輪、井戸、建物などの施設の確認が必要になってくると考えている。

遠藤市長 一般会計については、今年度よりわずかに増加する規模、特別会計については、天童病院の本体工事着手を予定しており、全体として増額を見込んでいます。税収は、定率減税の縮減、高齢者控除などの廃止による市民税の増収などの要因があり、今年度と同規模あるいは微増を見込んでいます。

地方交付税は、国の概算要

低迷による所得格差の拡大や無職者の増加などにより、国保財政は厳しい状況にある。国保は、加入者の平均年齢が高く、所得が低いという構造的な問題を抱え、医療保険制度間においても保険料負担に大きな格差が生じている。



健康増進事業を各地区で展開（健康体操教室）

これらの問題を解決するには、国保と政府管掌、健康保険組合、共済組合などの被用者保険との一体的な運営が必

求の段階でマイナス2・7%になっており、国庫補助金も三位一体の改革の決着により減額される補助金等の方向性が明らかになった。新年度から天童病院新築事業が本格化し、20年度オープンに向けて

要であり、都道府県等を単位として保険者の再編・統合を推進していくことが重要な課題であると考えている。

また、75歳以上の後期高齢者を対象とした新たな高齢者医療制度の創設や65歳から74歳までの前期高齢者についても、団塊の世代の退職者が国保に大量に加入し、保険者間で医療費の負担に不均衡を生じることから、これらに加入者数に応じて調整する制度についても検討が進められる見通しである。

国の医療費制度改革については、国民全体の給付と負担の公平が図られ、医療に対する安心と信頼の確保や質の高い医療サービスが提供される医療制度が確立されるよう、全国市長会や国民健康保険中央会等を通して要望していく。

本格工事に着手、学校給食センターについては、平成18年度に完成する単年度事業として取り組みたい。このことから、市債の発行予定額は、企業債を含め増えるものと考えている。

働く場を創出し安心して生活できるまちづくりを



片桐郁弥議員
本市の企業誘致の対応について、下水道管理センターの跡地利用、高速道路インターチェンジ

周辺の土地利用をどうするのか。また、県の企業誘致に対して、市ではどう対応するのか。市民が安心して生活できるようなまちづくりが必要であり、働く場を創出し環境を整

備しなければならぬ。

遠藤市長 下水道管理センターは、最上川流域下水道山形浄化センターへの切り替えに伴い、平成19年度で廃止する予定である。この跡地利用については、単体で考えるのではなく、高速交通体系に恵まれた条件を生かして、天童

インターチェンジ周辺の土地利用構想を策定し、県に対し積極的に働きかけをしていきたい。
また、本県に企業を誘致するため、県と市町村で山形県企業誘致促進協議会を設置し、東京や関西で本県をアピールするセミナーや企業との情報交換会を実施している。このような活動を通して、企業進出の情報を促進協議会が市町村に提供し、連携して企業誘致を図っている。

防災対策

危険点検や防災マップ作り支援を



伊藤和子議員
市民が災害への関心を高め、協力・共同して生活基盤の安全化や災害時の防災活動に自律的に取り組む「防災まちづくり」(危険点検や防災マップ作り)に行政として全面的に支援し、協働で防災力を高めることについて市長の見解を伺いた

い。

遠藤市長 地域の防災活動は、高齢者、身体障害者など必要とする者に対する避難誘導や安否確認、災害情報の伝達などについて、民生児童委員、福祉協力員、地元消防団の協力を得ながら、地域の連携による地域ぐるみの支援体制づくりを行う必要がある。
全国的には、子どもから大人までの防災訓練体制を強化したり、災害マップ作りを進

子育て支援

学童保育所の整備について 今後の取り組みは



山口桂子議員
安心して子どもを産み育て、意欲的に働く社会環境の整備として学童保育所は、公設民営を

めているところもあるが、市民、企業、行政それぞれの責任で防災活動における役割を認識し実施していくことが、防災力を高めるための協働につながるかと理解している。

また、災害時における情報伝達について、本部からの応援要請を受け、情報の把握や指令に的確に対応できるように、自主防災会を支援しながら、体制の強化を図っていく。

原則としていくべきと考えられるが、入所児童の多い「仮称天童南部第三学童保育所」の整備について、今後どのように取り組んでいくのか方向性をお聞かせください。
遠藤市長 天童南部学童保育所の分離開設については、昨年の12月議会で採択された請願及び今年の4月に天童南部町内会長連絡協議会から提出された陳情書の趣旨を尊重し、小学校施設などの公共施設の活用を第一に考え、天童南部学童保育所の運営主体である天童地区学童保育協会をはじめ、関係機関や関係団体と今後とも十分話し合いを行いながら進めていく考えである。



学童保育所に通う児童たち (南部第二)

市が描いている

「道の駅」とは何か



森谷仙一郎議員

わくわくランド内にある
ゆとりプラザ

ヤマコーが撤退したあと、八文字屋がオープン、森林情報館「もりな天童」では、天童市農協が物産品を販売している状況である。今後「もりな天童」が指定管理者制度へ移行することに伴い、市が描いている「道の駅天童温泉」



物販が行われているもりな天童

とは、どのようなものか。

遠藤市長 「道の駅天童温泉」は、森林情報館を駅舎として、野外ステージ、トイレ、東西の駐車場及び多目的広場が道の駅施設になっている。

市ではこれまで、天童八文字屋とわくわくランド全体の

活性化について話し合いの場を持ち、賑わいの創出を図るべく協力をお願いしてきた。今後とも、道の駅が、本市の産業、自然や風土、文化など、地域の持つ魅力を伝えるとともに、交流の輪が拡大し賑わいを醸し出せるようにしたい。森林情報館「もりな天童」を中心に、オルゴール博物館や天童八文字屋との連携を密にしながら相乗効果を発揮できるように努めていく。

農業経営

経営所得安定対策大綱 交付金の受け皿は



山崎 諭議員

この度、政府は、農政の大転換といっ

て経営所得安定対策等大綱を決定した。これは、農地や農業用水路などの資源を保全管理する活動組織に、交付金を直接支払いするということが、受け皿となる組織や団体はどのように想定しているのか。また、その育成策について伺いたい。

遠藤市長 経営所得安定対策大綱による支援対象の受け皿としては、地域ぐるみで行う

効果の高い保全活動と農業者ぐるみで行う先進的な営農活動を一体的にかつ総合的に支援するという施策の趣旨であり、土地改良区を中心に農業者、地域住民、農協など多様な構成員からなる活動組織を想定している。

平成19年度からの施策の導入に先立ち、平成18年度に三

県内経済

雇用創設や確保対策を どう進めるのか



高橋 博議員

県内における雇用情勢

は、経済動向月例報告において、緩やかな回復への動きも見られるとしているが、その実感性がなく、人員整理や若年層の就業率低下が顕著になっている。市と

郷堰土地改良区内の寺津地区を含む全国600カ所のモデル地区を設定し、実験事業が予定されている。市では、農業と農村地域の

振興を図るため、関係機関と連携して、土地改良区などが中核となる活動母体の組織化と育成に努めていきたい。

して雇用創設、雇用確保の対策を今後どのように進めていくのか。

遠藤市長 本市の雇用の対応については、山形公共職業安定所「天童ワークプラザ」が市高年齢者職業相談室として運営しており、今年度から相談員を1名増員し、相談業務の充実を図り雇用の改善に努めている。

また、天童商工会議所では市と連携し、離職者を対象に職場体験を行う「地域求職活動援助事業」を実施して、昨年度は、29名が受講し、21名が採用されている。

今後とも、雇用の改善に向け、市雇用対策協議会など関係機関と連携を図りながら雇用対策を推進していきたい。

総括質疑

総括質疑は12月14日に行われ、各常任委員会から9人の議員が、議案に対する質疑を行いました。
質疑の主な内容は次のとおりです。

8・20 豪雨災害

復旧事業の工事箇所は

森谷議員 去る8月20日の豪雨災害復旧事業で、土木災害の工事箇所は。また、今回の補正予算ですべて完了なのか。

池田建設部長 今回の補正予算は1億6191万円を増額するもので、その内訳は、河川復旧として山口地区の不動

沢川、道路復旧として高滝不動線、若松観音線等、計5カ所の災害復旧工事費の計上を行っている。

8月20日の豪雨災害の復旧事業については、9月議会で補正予算と合わせて今回の補正予算ですべて完了となっている。



8・20 豪雨災害 (若松観音線)

全面復旧の用途は

水戸(諭)議員 農地及び農業用施設災害復旧事業費について、今回の補正予算は8月20日の集中豪雨災害復旧補助金と思いますが、復旧の実態について。また、今回の予算において全面的な改修復旧ができるのかお尋ねします。

国井経済部長 8月20日の集中豪雨災害に関し、土地改良区等の団体が実施する農地及び農業用施設災害復旧で、1カ所10万円以上の復旧事業に対し、補助するものである。内訳として、畦(けい)はんの崩壊や流入した土砂の撤去事

質疑者一覧

- ★建設常任委員会
水戸 諭、石垣昭一
木村竹虎
- ★総務常任委員会
結城義巳、篠原み系子
- ★厚生常任委員会
伊藤和子、森谷仙一郎
- ★文教経済常任委員会
奥山成也、高橋 博

土地区画整理

法改正に合わせた対応が

高橋議員 今回の改正は、土地区画整理法及び不動産登記法改正に伴うものだが、法律改正に伴い、速やかに対応したのか。

に施行されたのに伴う用語の整理と督促手数料の見直しを行うものである。

池田建設部長 今回の老野森及び欽ノ町土地区画整理事業施行条例の一部改正は、土地区画整理法が一部改正され、平成17年10月24日に施行されたに伴い、条例の根拠規定を改めるものである。
また、不動産登記法が全部改正され、平成17年3月7日



老野森土地区画整理事業地内

受益者負担金の 基本的な考えは

伊藤（和）議員 受益者負担金は平成2年に改正されて以来15年経つ。工事費等の一定割合というが変わりはないのか。

分担金制度を加えることでどう変わるのか。

池田建設部長 都市計画法による受益者負担金及び地方自治法による分担金のそれぞれの規定により、事業の実施により利益を受ける者に対し



下水道整備の財源としての受益者負担金

て、利益の限度によって負担していたくものである。本市では下水道整備の財源として受益者負担金をもって対応している。1平方メートル

雨水浸透施設

設置補助金の内容は

奥山議員 雨水浸透施設設置補助金の内容について、お伺いしたい。

池田建設部長 雨水浸透施設設置補助金は、天童温泉地区及び北目地区において、雨水浸透施設を設置した場合、補助金を交付するものである。

補助金の額としては、設置に要する額の2分の1以内の額で1基5万円を限度として、3基まで交付している。平成17年度においては、温泉地区6件、北目地区15件で、当初予算で計上した150万円に達する見込みとなっている。

398円の単価である。この単価は、平成2年以来、同額で推移してきている。分担金については、昭和51年の法改正により、周辺部の下水道整備も進めてきており、都市計画区域外については、地方自治法による分担金をお願いすることになる。

る。今後の設置に対応するため、今回の補正予算となったものである。

町計 特別会 録特

大幅減額の理由は

結城議員 道路整備工事費及び補償金が大幅に減額補正になっている。大きく減額になった事業の内容はどの様なか。国からの内示額変更に伴う補正ということであるが、なぜ今の時期に内示額変更などがあり、補正をしなければならぬのか。

池田建設部長 平成17年度に予定していた工事について、関係地権者の都合により、当該区間の工事を先送りするこ

ととし、国の承認を得て老野森土地区画整理事業の建物移転補償費等への組み換え補正を行うものである。



録ノ町土地区画整理事業地内

議会のうごき

10月

- 21日 総務常任委員会研修会
- 25日 建設常任委員会研修会
- 25～27日 文教経済常任委員会研修会
- 31日 市長要請全員協議会

11月

- 1日 山形県市議会議長会議事報研修会
- 7～8日 議会だより編集委員会行政視察（千葉県袖ヶ浦市他）
- 10日 市長要請厚生常任委員協議会
市長要請会派代表者会
- 14日 議会改革検討委員会
市長要請全員協議会
- 22日 厚生常任委員協議会
- 24日 建設常任委員会現地視察（山形市他）
- 29日 議会運営委員会
第4回市議会臨時会
- 30日 議会運営委員会
議会だより編集委員会

12月

- 7～22日 第5回市議会（12月定例会）
- 7日 議会改革検討委員会
- 14日 議会だより編集委員会
- 21日 議会運営委員会
- 22日 会派代表者会
- 28日 建設常任委員会現地調査（除雪状況）

平成18年

1月

- 4日 市長に対する豪雪対策の申入れ（議長・各常任委員長）
- 6日 議会だより編集委員会
- 18日 建設常任委員会現地調査（除雪状況）
- 20日 議会だより編集委員会

値上げ分の数的根拠と

内訳は

木村議員 現行2000円から3000円への値上げ1000円の数的根拠とその内訳について、また、今回の値上げにより健全経営を図ることができ、市民の保養施設としての意味を保てるのか。

今後、指定管理者がさらに値上げを要した際に市としてどのように対応するのかお伺いします。

秋葉市民部長 平成16年度における入浴施設及び休憩室利用による、利用者1人あたりの利用料金収入は195円で



多くの人に利用されている市民保養施設「ゆびあ」

あり、それに対して利用者1人あたりに要した経費は247円で、経費が収入を上回っている状況にある。

今回の利用料金の見直しによる大人入浴料金1000円の値上げについては、一つはこれまでの収支の不均衡を整えること、二つ目に重油価格の

急激な高騰により燃料費が16年度に比べ約1000万円増加する見込みであること、三つ目にこれまで利用料金の見直しを行った近隣市町の同様な施設において、利用者数が増加し収入減少を勘案したものである。

利用料金は条例で定められており、指定管理者から利用料金の値上げを申請されても、議会の議決なしに利用料金の改定はできないものである。

地域包括支援センター

運営協議会の

構成と役割は

石垣議員 地域包括支援センター運営協議会委員報酬についてお伺いします。これは介護保険改正での「新予防給付」に対応する協議会設置になります。委員会の役割と委員の構成など、内容についてお伺いします。また、包括支援センターの設置方針についてお示しください。

秋葉市民部長 地域包括支

援センター運営協議会の役割は、地域包括支援センターの設置・変更の承認、支援センターの公正、中立性の確保と適正な運営を図ることを主な所掌事務としている。

委員の構成は、介護サービスに関する利用者と事業者、医師会等の職能団体、介護保険の被保険者代表などからなっており、これまで介護保

険事業計画の策定について審議をいただいている天童市介護保険運営協議会の委員構成とほぼ同様であることから、平成17年度においては、同委員10名に併任委嘱をしている。

地域包括支援センターの設置方針としては、市内に1カ所の支援センターを設置して、委託先は公正、中立性の観点とこれまでの実績等を考慮して市社会福祉協議会を予定している。

生活保護費支給超過

返還の方法と

回収の見通しは

篠原議員 生活保護費（2世帯分）の過大支給について、国庫負担分769万1000円を生活保護受給者から返還を求める方法と、回収の見通しについて。また、天童市負担分256万3000円の返還についても市は今後どのように返還を求めていくのか、お伺いします。

秋葉市民部長 生活保護世帯のうち2世帯について、年金収入があったにもかかわらず、その申告を怠っていたために、また、その調査が不十分だったために、過大に支給していたことが会計検査により指摘された。2世帯合わせた過大支給額のうち、769

万1000円が国庫負担金である。市の負担金額は256万3000円である。今後、生活保護法により国庫負担金と市負担金を合わせた金額の返還を求めていくことになる。両世帯とも高齢、傷病者で、保護継続中もあり、一括返還が困難なことから生活実態を把握し、協議をしながら返還を求めていく考えである。

今後の再発防止策については、資格要件の再確認を行うとともに、今回のケースのような受給開始後の年金支給等については追跡調査が必要であり、今後はその追跡調査についても徹底していく考えである。

議会では

②

今回は
議会改革検討委員会です

議会改革検討委員会で議会の活性化や見直しについて協議をすすめています。これまでの経過と内容についてお知らせします。

◆設置経過と委員構成

昨年4月の各派代表者会議で、一党派から議員定数について検討すべきとの提案がありました。早速、各派代表者会で協議された結果、議員定数だけでなく、議会活性化に向けて様々な問題についても見直し、検討すべきとの合意

に達し、5月16日に「天童市議会改革検討委員会」が設置され、昨年12月までに8回開催されています。

委員は8名とし、各党派から按分で選出されています。昨年7月までに、各党派から提出された検討課題をまとめ、議会改革検討委員会では、

■これまで決まったこと

*農業委員の推薦（選任）について

- ・議会選出の委員を2名から1名に減らす。
 - ・女性委員2名の推薦は継続
- ※平成17年10月構成替えから実施済

*行政視察について

- 平成18年度から下記の視察を廃止する
- ・議会運営委員会
 - ・議会だより編集委員会
 - ・海外行政視察

*議会傍聴の受付簿の改善

個人情報保護のために、氏名・住所・年齢を一覧表に記載する方式から、個人カード方式に変更

◆議員定数22人に

議員定数・常任委員会の数と議会活動に関することを検討することになりました。また、議会活性化のため見直しの項目（代表質問、一般質問の持ち時間、予算・決算特別委員会の構成など）は議会運営委員会に、議長公用車の存廃、傍聴席の改善などについては、各派代表者会で検討することになりました。

1月23日、第9回議会改革検討委員会が開かれ、論議されていた議員定数について、現行26人から4人減の22人とすることを賛成多数で決めました。

今後の日程としては、3月議会で議員定数条例を改正し、平成19年9月の市議会議員選挙から適用される予定です。

議会だより
編集委員会

行政視察報告

11月7日～8日

千葉県〈袖ヶ浦市〉

袖ヶ浦市の議会だよりの紙面は、パブリックサイズと大変大きな紙面で、市報と同じ大きさで、配布については、新聞折り込みで行っているそうです。

記事としては、一般質問、議案に対する質疑、答弁、委員会の活動状況、請願や陳情となっているが、今後「行政視察の報告」「各委員会の活動」にとどまらず、会派の活動紹介や各議員の個々の視察なども記事としていきたいという方向性があるとのことでした。

また、議会広報特別委員会、議会だよりの編集・発行及び議会ホームページの管理運営並びに市議会の広報に関する調査研究のために設置されています。



袖ヶ浦市で説明を受ける編集委員

千葉県〈富津市〉

富津市の議会だよりは、議会での質問、執行部の答弁共に、議員が自らの手で作成しているとのことでしたが、議員名・顔写真の掲載への反対や、市報の予算との兼ね合いから、2色印刷での紙面しか作れず、市民からは、内容がよくなくなったが、市報（カラー印刷）より見づらいたとの指摘を受けているとのことでした。

逆に、天童の市議会だよりは読みやすいという評価をいただきましたが、今後も市民の皆様が親しまれる紙面づくりに、編集委員一同頑張りたいと思いますのでよろしくお願います。

予算特別委員会

17年度一般会計予算

1億8,289万円を
追加補正

除雪業務委託料を増額



豪雪により次々と雪を積んだトラックが到着する排雪場

歳入では、前年度市税収入の増を要因とする地方交付税の減額、8月20日の豪雨災害復旧事業に係る国庫補助金等の繰入金金の増額を行うものです。また、歳出では、給与

条例の改正による人件費の減額、田麦野小学校閉校関連の経費や、降雪に備えた除雪業務に要する委託料の増額などで、計1億8289万円を増額する一般会計補正予算と各特別会計補正予算、企業会計補正予算の計9件は、予算特別委員会に付託され、各分科会で審議されたあと、本会議において原案のとおり可決されました。

各分科会の審査の主なものは次のとおりです。

建設分科会

除雪業務委託料

について

委員 排雪を実施する基準は、**建設課長** 積雪が50cm以上あ

り、引き続き降雪が予想される場合に豪雪対策本部が設置される。その際、市民生活に著しい影響を及ぼすおそれがあると判断される交差点や通学路、住宅密集地の排雪を行

雨水浸透施設設置

の推進は

委員 区域拡大や設置推進の方策は。

都市計画課長 天童温泉地区及び北目地区に加え、地区計画と連動して設置を推進している。長岡地区の一部を対象区域にすべく検討中である。

厚生分科会

介護に関する

市民の相談窓口は

委員 介護保険制度の改正に伴い地域包括支援センターが設置されるようになるが、介護に関する市民の相談窓口などの対応はどうなるのか。

高齢社会課長 地域包括支援センターは、介護予防等を包括的に行うものであり、総合

相談窓口の機能を果たすようになる。なお、制度改正に伴う介護保険の内容については、地区ごとの説明会などで十分なPRをしていく予定である。



地域包括支援センターの委託を予定している市社会福祉協議会

福祉タクシーの

利用方法は

委員 福祉タクシーの利用に関するサービス内容はどうか。

健康福祉課長 身障手帳1級、2級を持つている方で、肢体不自由の方は、健康福祉課所管のリフト付タクシー券を利用してもらう。それ以外の方で、要介護の認定を受け、移動の困難な方は、高齢社会課所管の高齢者移動サービス

事業によりリフト付タクシーを利用できる。

新システム導入についての準備は

委員 新病院では、電子カルテ、オーダーリングシステムを導入予定だが、その準備として研修などが必要でないか。

天童病院事務局長 現在も、いろいろな機種について、デモを実施するなどして、天童病院にあった基本システムや個々のシステムをどう構築したらよいか検討している。新病院開院までは、システムの操作やカルテの入力などについて研修を実施し、しっかりと準備していきたい。



総務分科会

燃料単価の変更は

委員 庁舎施設維持管理費の燃料費について、燃料費の増額による補正であるが、燃料の単価を年度途中で変更できるのか。

財政課長 市では、燃料組合と年度当初に契約を結んでいるが、燃料費の変動が考えられるので、月単位で状況に応じて、価格を交渉している。今年は特に9月に燃料の価格が大きく変動したので、単価の改定を行った。

競争入札を

すべきでは

委員 燃料組合で決めた単価で購入するのではなく、競争入札をすべきではないのか。

財政課長 燃料を安定的に供給するために、山形県や山形市など、あるいは、民間の燃料の売買単価の情報を得ながら、適正な単価で契約しているのでご理解いただきたい。

交付税の減額理由は

委員 普通交付税が予想以上に減額された理由は。

財政課長 普通交付税を積算したときよりも、法人市民税が予想以上に伸びたからである。

市民税の伸び以上の減額では

委員 法人市民税が伸びたという事実は理解できるが、基準財政需要額も伸びた中で、法人市民税の伸び以上に減額されているのではないのか。

財政課長 全国の集計結果をもとに、交付税の全体交付予定額とを調整するために、調整額として、交付予定額よりも、約1600万円ほど多く減額されて交付されたからである。

文教経済分科会

今後の校舎の活用は

委員 田麦野小が3月で閉校

になるが、その後の校舎の活用は。

教育次長 現在、田麦野地区の地域づくり委員会と庁内の意見とのすり合わせを行っているが、大まかな内容として「交流」「文化」「防災」をキーワードとした交流館を考えている。田麦野の持っている豊かな自然、歴史、文化を生かした体験交流的なもので施設を活用し、必要な経費を新年度予算に計上する予定である。



閉校後に新しく生まれかわる田麦野小

公民館の耐震診断は

委員 今回、高楯公民館の耐震診断を実施するようだが、その他の公民館の実施予定は。

生涯学習課長

耐震診断実施の対象となる昭和56年以前に建築された市立公民館は今回実施する高楯公民館を除いて9カ所ある。概算で耐震診断費用だけで1000万円以上かかるものとみている。

3月下旬に出される高楯公民館の診断結果を見てからの判断になるが、市立公民館は地区の防災上の避難施設にもなっており、計画的に取り組み考えである。



耐震診断が実施される市立高楯公民館

一般会計補正予算(第5号)のあらまし

補正額 1億8,289万円
補正後の予算総額 183億3,680万6,000円

◆主な内容

(単位：千円)

◎歳入

地方交付税 △230,052
財政調整基金繰入金 199,470
土木施設災害復旧費負担金 110,723

◎歳出

さくらんぼ生産拡大緊急対策 6,996
事業費補助金
除雪業務委託料 70,000
田麦野小閉校記念事業負担金 400
土木施設災害復旧工事費 161,910

市民の声

「何かやろう、見てやろう」

市立北部公民館「きらきら七つ星クラブ」が昨年12月第5回市議会定例会一般質問を傍聴しました。もともと政治への関心はあまり高い方とは言えませんが、

私たちが安心してつづがなく暮らしているのは、政治に携わる皆さま方のご努力のおかげと感謝しているところです。

最も身近なところ

で市政はどのようにして進められるのだろうか、緊迫の面持ちで議場に入りました。

手渡された各議員さんの質問事項を見ると、近未来の何という膨大な問題点が列記されておられ、これら一つ一つに限られた予算の中でどのように運用していくのか、議員と

市長との間で長時間熱心に討議されている様には驚かされました。

私たちの前では、○市立病院の新築整備について ○小中学校の耐震構造について ○鉄ノ町開発について ○入札制度の改善について ○企業誘致の対応について等々の質疑が繰り返されました。

議会を傍聴して 八鍬美代子（北久野本）

思うに、こうした努力があればこそ私たちの平穏な生活が維持できるのだと、改めて感謝し、議員さん方々の益々のご活躍を祈りつつ、議場を後にいたしました。

終わりに、高齢化が進む中、一人暮らし世帯が増えてきております。今年はおつけない豪雪に見舞われ、除雪に苦慮しているこれらの方々への素早い対応もご討議いただければ幸いです。

インターネット議会会議録の更新についてのごお願い

議会会議録は、市が開設しているインターネットのホームページ（アドレス <http://city.tendo.yamagata.jp/>）でご覧いただけますが、会議終了後、インターネット用データの作成を進め、確認や字句の訂正を行いながらの作業を行い、インターネットでご覧いただけるまで、約55日を要している状況です。

テープ反訳というある程度時間を要する作業であり、また字句等の誤りが無いよう十分チェックが必要な作業でもありますので、ご理解をお願いいたします。

人権擁護委員に 三武千種氏を再任

平成18年3月31日をもって任期満了となる現委員の三武千種氏（山口）を再任することに同意しました。

編集後記

12月定例会では給与条例改正に伴う人件費の削減、昨年8月の豪雨災害復旧工事費などの補正、そして指定管理者制度導入による条例の改正など、16の議案が可決されました。

天童市では、第5次総合後期計画も整備され、行政改革に向けて着実に進んでおります。

特集記事として「天童市議会改革検討委員会の動き」を掲載いたしました。今後とも皆様の御意見・御感想をお寄せください。

《議会だより編集委員会》

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 伊藤和子 |
| 副委員長 | 篠原みゑ子 |
| 委員 | 小澤 精 |
| 〃 | 長岡 繁 |
| 〃 | 佐藤正男 |
| 〃 | 木村竹虎 |
| 〃 | 山口桂子 |

第6回臨時会

豪雪対策に 1億6,823万円を追加補正

1月24日に、第6回市議会臨時会を開催し、記録的な豪雪への対策として道路の除雪、排雪等の経費のほか、高齢者、身体障害者のみの世帯に対する屋根の雪下ろしや地域内の排雪活動への助成など、1億6,823万円を追加し、補正後の予算総額を185億503万6,000円とする議第64号平成17年度天童市一般会計補正予算（第6号）を可決し、閉会しました。